

第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向けた KPI 検討会
(第2回)
議事要旨

1. 日 時 令和元年9月13日(金) 10:30~12:00
2. 場 所 中央合同庁舎8号館7階まち・ひと・しごと創生本部事務局内会議室
3. 出席者(敬称略)
[委員]
五十嵐 智嘉子、岡田 豊、牧野 光朗、増田 寛也(座長)、松原 宏
[内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局]
木下地方創生総括官、和田地方創生総括官補、中原審議官、高橋次長、菅家次長、丸山次長、田口次長、木村次長、橋本参事官 ほか
4. 議 題
○第2期「総合戦略」における政策体系の整理
○4つの基本目標に係る KPI の見直し・新しい KPI の検討
5. 議事概要
○第2期「総合戦略」における政策体系の整理等
第2期「総合戦略」における政策体系の整理、4つの基本目標に係る KPI の見直し・新しい KPI の検討等について事務局から説明を行い、主に以下のような意見が述べられた。

(1) 政策体系の整理等について
 - ・東京圏への転入超過が多い地方の大都市においては、「ミニ東京」となるのではなく、個性的で魅力的な都市環境をつくれるよう、経済団体等を含めて議論を深める必要がある。
 - ・グローバル化の中での各都市の位置づけを考えていくなど、国土構造をどう考えるかという視点を持って政策や KPI を検討することが必要である。
 - ・日本の成長力のためにも、世界に発信できる地方発のビジネスが地方の大都市から出てくる必要がある。
 - ・東京一極集中の是正に向けて、「東京の大学に行き、東京で就職」するだけでなく、「一度地方から東京等に出て行って、そこから地方に戻る」というルートがあることをモデルとして示す必要がある。
 - ・地方の中小都市においては、特に、平成の大合併を経て、比較的大きな都市に編入されていった旧町村の地区に対してどのような対策をしていくか考える必要があるのではないか。例えば、各地区において、地域のビジョンをその地区の中で話し合っって方向性を出していくことが重要であり、国としてもそれを促していくことが必要である。
 - ・経済団体との意見交換を引き続き行い、産業振興における広域連携や女性活躍を進めるべきである。
 - ・女性の地方への定着には、地域の特性を活かしたクラスター的な産業構造の形成が

課題である。

- ・地方創生の5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）について、再度丁寧に地方に発信すべきではないか。特に「自立性」については、経済的な自立だけでなく、住民一人一人が自分事としてまちのあり方を考える、という意味での「自立」もあるのではないか。第2期においては、これを促進するための組織づくりや仕掛けづくりに取り組んでいただく必要がある。

（2）KPI について

- ・地方創生は、経済社会構造全般にわたる取組であり、施策の目的とKPIの関係が複雑なものとなる場合がある。この点を踏まえ、定性的な評価も含めて検証するなど、各自治体に対して第2期「総合戦略」策定に向けて留意すべき視点などを示した方が良いのではないか。